

兵卒教程

一

66

64

東泉圖書館

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 三 | 六 | 二 | 六 | | |
| 冊 | 四 | 架 | 函 | 屬 | 類 |



兵禁教程附錄卷之一

目錄

豫備兵後備兵心得

旅費定則

諸願屆並書式

頭書目錄

後備軍軀員條例

陸軍滿期下士文官採用規則

全細則

後備軍 凡後備軍 條例

第一條 凡後備軍 條例
員ハ將校下士並ニ
會計軍醫馬醫軍樂
各部全等官ノ常備
預備兩軍服役年限
ヲ終ハリタル者並
ニ陸軍一定ノ規則
ニ由リ後備軍ニ轉
スル者ヲ以テ之ニ
充テ常ニ其本籍ニ
歸住シ地方所管鎮
臺ノ統轄ニ屬スル
モノトス
第二條 將官並ニ全
等官ノ後備軍 軀員
ニ轉スル法ハ將官
退職令ニ詳ナルヲ

兵卒教程附錄卷之一

豫備後備兵ノ心得

豫備兵後備兵ハ其師管後備軍司令
部ニ屬シ本縣駐在官ノ命令ニ從フ
モノトス
豫備軍服役中ハ每年一度操練復習
ノ為メニ召集シ又後備軍服役中ハ
毎年一度便宣ノ地ニ於テ操練復習
ニ換ヘ點呼ヲ為ス者トス故ニ其命
令アル時ハ速ニ之レニ應ジ必ズ其

以テ茲ニ掲ケス

第三條 後備軍ノ軀員タル可キ者ハ左ノ如シ

第一項 服役停年ニ由リ恩給ヲ受ケ退職スル各兵科上長

官士官並ニ各部全等官

第二項 年齢定限並ニ陸軍一定ノ規則ニ由リ罷任ニ入ル各兵科上長官士官並ニ各部全等官

第三項 豫備服

復滿期後備役ニ入ル各兵科士官及ヒ各部全等官並ニ後備軍軀員中ノ各兵科下士及ヒ各部全等官ヨリ士官ニ任セラレタル者

第四項 陸軍部外ノ官廳ニ奉職スル各兵科上長官士官並ニ各部全等官

第五項 陸軍一定ノ規則ニ由リ後備軍籍ニ編入スル各兵

期ニ後ル、可カラズ

但本文ノ外非常等テ臨時召集ノ命令アル時ハ其命令ヲ受クルノ後必ス廿四時以内ニ出發ス可シ

召集點呼等ノ時ニ當リ自己ノ病疾又ハ父母ノ重病其他所刑中ノ為メ之レニ應スルヲ能ハズ延期ヲ願フモノハ必ス集合期日前ニ於テ病氣ナレハ醫師ノ診断書所刑中ノ者ハ刑名宣告書ノ寫ヲ以テ(郡區長ニ申出ベシ

一復習召集又ハ點呼ノ時ニ於テハ軍隊手帖並ニ番號割符ヲ所持シ勲章從軍記章拜受ノ者ハ之ヲ携帶スヘシ

一豫備兵後備兵服役中北海道へ轉籍又ハ全戸寄留スル者ハ戰時或ハ非常召集ヲ除ク外定例ノ復習並ニ點呼共當分差免サル、モノトス

一駐在官ノ引卒ニ與カラサル場合ニ在テハ往復途中宿泊ニ於テ通行免狀ヲ郡區戸長ハ通運會社へ差

出ベシ

在テハ往復途中宿泊ニ於テ通行免狀ヲ郡區戸長ハ通運會社へ差

科下士並ニ各部全等官

第六項 豫備役 満期後備役ニ

入ル各兵科下士及ヒ全等官並ニ後備服役

中ノ兵卒ヨリ下士ニ任セラレタル者

第四條 第三條第一

項ニ當ル者及ヒ第二項ノ年齢制限ニ至リ罷役ニ入ル者ニ在テハ退職若シクハ罷役ヲ命セラレタル日ヨリ五ケ年間後備軍員ニ

服スヘシ

第五條 第三條第二

項ノ陸軍一定ノ規則ニ由リ罷役ニ入ル者及ヒ第四項ニ當ル者ニ在テハ現役ニ於テ定メタル年齢制限マテ後備軍員ニ服スヘシ

第六條 第三條第三

項ノ豫備役満期後備役ニ入ル者又ハ士官ニ任セラレタル者ハ豫備役満期後備役ヲ命セザレタル日若シクハ士官ニ任セラレタル日ヨリ四ケ年間後

出シ發着ヲ記載セシメ已ニ歸郷スル時ハ着後三日以内ニ此免状ニ戸

長ノ証印ヲ要シ郡區長へ差出ヘシ豫備兵後備兵服役中ノ者我府縣内

ニ於テ用便ノ為メ一日途程ヲ遠隔スルカ或ハ數十日自家ニ在ラス此

處彼處徘徊スル者ハ必ス家元へ行先ヲ告ゲ置キ尙其行先ヲ變スル

アレハ値ニ其趣ヲ家元へ通報スベシ

豫備兵後備兵ハ疾病傷痍ニ依リ兵

役ニ堪ヘザル確証アル者及ヒ犯罪

所刑除役ニ至ルベキ者ノ外ハ假令ヒ戸主嗣子分家相續人トナルモ其

服役ハ免ゼラル、事ナキモノトス豫テ附與セラレタル番號割符並ニ

軍隊手帖ハ大切ニ所持スベシ若シ毀損或ハ遺失スル時ハ詳カニ其事

由ヲ申出デ併セテ代品ノ給與ヲ願出ツヘシ

凡テ願届ハ郡區長及ヒ戸長ノ與書証印ヲ以テ駐在官へ差出スモノト

備軍軀員ニ服スヘ

第七條 第三條第五

項ノ後備軍籍ヲ編入スル者ハ常備役或ハ預備役(常備現役中)ニ入リタル者ハ預備役ニシテ滿期後備役ヲ命セラレタル日ヨリ三ケ年間後備軍軀員ニ服スヘシ

第八條 第三條第六

項ニ當ル者ハ預備役滿期後備役ヲ命セラレタル日又ハ下士ニ任セラレタル日ヨリ四ケ年間後備軍軀員ニ服ス

ヘシ

第九條 各兵科上長

官士官下士並ニ各部全等官ノ後備軍軀員服役年限ハ前諸條ニ示ス如シト
金尺尚ホ引続キ後備軍ノ軀員タラシト欲スル者ハ上長官並ニ全等官ハ年齢六十五歳士官並ニ全等官ハ年齢六十歳下士並ニ全等官ハ年齢五十歳迄願ニ依テ後備軍ノ軀員タルヲ得ベシ

ス其願届書中診断書或ハ保証書又

ハ家族書等ヲ添ヘ差出スヘキモノ

ハ一定ノ規則アルガ故ニ戸長役場

若クハ郡(區)役所ニ至リ其手續ヲ了

寧ニ承ルベシ

但願届或ハ公用ヲ便ズル為メ駐

在官又ハ郡(區)戸長役場へ至ル時

ハ軍隊手帖ヲ示スベシ

一 歸休兵及ヒ豫備軍後備軍ノ籍ニ在

ル者忌服中ト雖モ召集ノ時ニ當リ

テハ直チニ除服其召集ニ應スベシ

一 豫備兵復習中ハ常備服役中ノ等級

ニ拘ラズ總テ各兵二等卒ニ等砲卒

給ノ給料タルベシ

一 豫備後備兵卒ニシテ豫備兵復習或

ハ後備兵點呼ノ時其府縣駐在官ノ

助手ヲ命セラレタル者ハ二等卒ノ

俸ト隊外卒ノ手當金一日金十ヲ給

シ又居宅二里以外ノ者ハ宅料一日

錢三ヲ給ス

旅費

一 左ノ事柄ニテ旅行スル兵卒ハ旅費

第十條 後備軍服員

ハ陸軍ノ制服ヲ着シ其官階ニ應スル禮款ヲ享ルノ推ヲ有スルノミナラス其學術才能ニ從ヒ亦進級スルヲ得ヘシ

第十一條 後備軍ノ

本籍地方ノ後備軍諸隊ニ配付ス而シテ戰時ハ勿論非常ノ事故アルニ當リ常備軍上長官士官下士並ニ全等官ノ缺員ヲ補充スルヲアルヘシ

第十二條 後備軍服員ノ其官階ニ應スル禮款ヲ享ケ又ハ進級スルヲ得ル

ハ第十條ニ示ス如シトスル其席次ハ各常備軍ニ在役セル全等官ノ末坐タルヘシ又後備軍中ニ於テ進級シタルモノ若シ常備軍ノ補缺トナルトキハ其官階ヲ下シ入隊セシムルコトアルヘシ然レトモ以前常備軍服役中ノ官階ヨリ下スルナキモノトス

日當金四拾錢滞在日當金二十八錢

ヲ給スヘシ

一公用旅行 一常備滿役歸郷

一教導團ニ入團ノ者

一病氣事故ニ因リ免役歸郷ノ者

一近衛入隊ノ者

一兵器彈藥及ビ囚人護送ノ節

一豫備兵後備兵及ビ歸休兵召集ノ節

ノ節

一常備兵卒在營中病氣免役ノ者並ニ豫備軍後備軍ノ諸卒及ビ歸休兵歸

縣ニ臨ミ疾病ニ罹リ歩行シ難キ者ハ軍医ノ診斷書ニ因リ車駕賃トシ

テ一里金七錢ヲ給ス

一旅中病氣或ハ川留雪支等ニテ延

セシ時ハ該地戸長或ハ郡區長ノ證

書並ニ病氣醫師ノ診斷書ヲ添ヘ具

申スルルハ滞在日當ヲ給ス但シ一

日十里ヲ以テ算出セシ日數中ニ到

着スルモノハ給セス

一豫備軍後備軍諸卒及ビ歸休兵召集

ノ節該地ニ着翌日午後ニ至リ入營

ノ節

第十三條 後備軍

員ノ上長官士官並ニ各部全等官年限満期ニ至ルトキハ第十條其書式ニ準シ成規ノ順序ヲ以テ陸軍卿ノ致仕或ハ免官ヲ請フヘシ若シ引續キ郵便員ニシテ引續キ欲スル者ハ第十五條其書式ニ準シ同様ノ手續ヲ以テ許可ヲ請フヘシ

第十四條 其下士並

ニ全等官ノ滿期ニ至ル者ハ所管鎮台司令官ニ於テ本官

セシムル時ハ晝食金八錢ヲ給スヘシ

一 諸卒鞠問ノ為メ旅行セシムル時ハ

公事私事ノ別ナリ日當金三拾錢滯

在日當金二拾八錢ヲ給ス若シ無罰

ニ歸スル時ハ歸路ノ日當八金四拾

錢ヲ給スヘシ

一 總テ滿刑歸郷ノ者旅費日當金三拾

錢ヲ給シ滿刑飯隊ノ者ハ日當金四

十錢ヲ給ス

一 囚人ノ旅行ハ泊料共金十三錢

食金五錢ヲ護送ノ者ニ付與シ以テ

之ヲ賄ハシム

一行軍又ハ陣營轉移ノ擧アル時ハ増

俸トシテ其本俸四分ノ一ヲ給ス之

ヲ旅次増俸ト云其増俸ハ海陸里數

ニ拘ラス日數ヲ以テ之ヲ給ス若シ

途中滯留ヲ命スル時ハ亦之ヲ給ス

但行軍中當罰及ヒ犯罪未決ノ者

其他病院又ハ病室ニ入り療養中

ハ之ヲ給セス

一行軍ノ擧アリテ某地ニ出張ノ後更

ヲ免スヘシ若シ又引續キ服役セント欲スル者ハ滿期以前ニ第十五條其書式ニ準シ成規ノ順序ヲ以テ願出ルルハ鎮台司令官ニ於テ聞届クヘシ

其後

年号月日後備軍郵便被仰付服務在在候慶本年何月ニテ

滿期相成候ニ付後
備軍軀員被免奉官
被免候様仕度此段
奉願候也

使直應管下何國何郡
何町村華士族平民

何鎮台管轄後備軍
軀員

年号月日 官姓名印
陸軍卿何某殿

其二書式

其儀

年号月日後備軍軀
員被仰付被申付服
務在候處本年何
月ニテ服後滿期ニ
至リ候へ共未タ後

備軍軀員年齡年限
未滿中ニ付尚ホ往
キ何々年間引續キ
服務仕度候間御許
可被下度此段奉願
候也

使直應管下何國何郡

(區)何町村華士族平民
何鎮台管轄後備軍軀
員

年号月日 官姓名印
陸軍卿何鎮台司令官何某殿

第十六條 後備軍軀
員タル者陸軍部外
ノ官廳ニ奉職スル
ハ妨ケナシト雖モ
ハ妨ケナシト雖モ

ニ其地屯在ノ命アル時ハ旅次増倍
ハ其當日限リ翌日ヨリ三日間旅費
料ヲ給シ其後ハ總テ平常ノ通りタ
ルヘシ

一陣營轉移ノ時兵卒ハ着翌日ヨリ三
日間旅費料ヲ給スヘシ

途中若クハ出張先ニ於テ病氣或ハ
傷痍等ニテ治療ヲ受ル時其藥價ハ
官費其歩行シ難キ者ハ實費車駕賃
ヲ給スベシ

旅費料内譯表

旅費料内譯表

| | | | | | | |
|------|-----|-----|-------|----|----|---|
| 一 | 泊 | 一 | 晝 | 途中 | 茶代 | 計 |
| 金十六錢 | 金六錢 | 金二錢 | 金二十四錢 | | | |

備 ○實費仕拂上殘餘金ハ返納スルモノトス
考 ○途中茶代ハ滞留又ハ屯在中ハ給セサルヘシ

一兵卒在營中死亡ノ時ハ埋葬料トシ
テ金拾圓ヲ給ス而シテ殘金アル時
ハ其死者ノ親戚ニ下付スヘシ豫備

兵復習中死亡ノ者モ之ニ準ズ
一親戚ノ願ニ依リ死体ヲ引渡ス時ハ
埋葬料ヲ親戚ノ者ニ給スベシ

一親戚ノ願ニ依リ死体ヲ引渡ス時ハ
埋葬料ヲ親戚ノ者ニ給スベシ

集又ハ定例後習ノ時ハ速ニ其召集ニ應スヘキモノトス

第十七條 後備軍軀

員タル者ヲ陸軍部外ノ官廳ニ於テ登庸セント欲スルハ其官廳ヨリ戰時ハ勿論非常其他ニ當リ速ニ召集ニ應セシムヘキ旨ヲ約シ軀員所管ノ鎮台ヘ協議ノ上採用スヘシ

第十八條 後備軍軀

員ニシテ他ノ官廳ニ奉職スル者其奉職地ノ鎮台本籍地

ノ鎮台ト異ナルハ其奉職地鎮台ノ後備軍軀員ニ轉セント欲スル者ハ本籍鎮台ヘ其事由ヲ詳ニシ轉籍ヲ願出ヘシ

第十九條 後備軍軀

員ノ旅行又ハ某ノ地ヘ寄留セント欲スル者一軍管内ニ在テハ召集ニ差支ケル為メ注ク先ヲ詳ニシ成規ノ如ク届出又軍管外ニ係ルハ所管鎮台ノ許可ヲ受クヘシ若シ其寄留地ノ

一 歸省中死亡ノ者ハ之ヲ其本籍府縣ノ郡區役所ニ送付シテ親戚ニ下付セシム

諸願届並書式

一 常備兵在營中身元ノ異動アル時ハ左ノ書式ニ從ヒ直ニ自巳ノ所屬ノ下士ヘ届出ヘシ

身元異動之儀ニ付御届

何儀

從來何府縣下何郡區何町村何番地居住之處今般府縣郡區町村番

地ヘ轉居轉籍(全戸寄留)致候旨親族ヨリ通報有之候間此段御届申候也

兵種隊號何等卒

姓 名 印

明治年月日
追而本文之通身元異動相生候ニ付別紙番号割符差出候間御改正被下度候也

其二

身元異動之儀ニ付御届

後備軍軀員ニ轉ヤ
 ント欲スル者ハ其
 事由ヲ詳ニ願出
 ルトキハ詮議ノ上
 許可スヘシ
 第二十條 後備軍軀
 員ノ轉居セント欲
 スルキハ一軍管内
 ニ在テハ其旨ヲ缺
 台ニ届出ヘシ若シ
 他ノ軍管下ヘ轉籍
 セント欲スルモノ
 ハ所管鎮台ニ願書
 其許可ヲ受カヘシ
 第二十一條 後備軍
 軀員ノ外國ヘ旅行
 又ハ滞在セント欲
 スル者ハ其事由ヲ

詳ニ所管鎮臺ノ
 許可ヲ受クヘシ但
 シ旅行又ハ滞在中
 ハ平時ノ復習ニ應
 スルニ及ハスト虽
 モ戰時或ハ非常戒
 嚴ノ宣告アルキハ
 速ニ帰国シ所管鎮
 台ニ届出ヘシ
 第二十二條 服役中
 不治ノ病ニ罹リ或
 ハ不具トナリ職務
 ニ堪ヘ難キ者ハ陸
 軍医官陸軍医官不
 地方醫師ニ名診斷書
 以上
 ヲ添ヘ所管鎮台ニ
 届出ツヘシ若シ死
 没スルハ其親族

養實父。母。祖父。祖母。兄弟。姊妹。妻。長
 次男(女)何儀何月日死亡致(他家へ
 養子入籍或ハ縁付(養家離縁復籍
 候ニ付戸籍面異動相生候旨親族
 ヨリ通報有之候間此段御届申候
 也

明治年月日 兵種隊番何等卒
 姓名 印

(本文ノ異動ニ付若シ割符肩書ニ
 差響キ改正ヲ要スル時ハ前同断
 追而書ヲ附スヘシ

其三

身元異動之儀ニ付御届
 養實父。母。祖父。祖母。兄弟。姊妹。何儀戸
 主ニ候處何月日死亡(今般都合ニ
 依リ隠居)致候ニ付更ニ父母兄弟
 或ハ自分相續戸主(自分某ノ嗣子
 又ハ弟ト相成候旨親族ヨリ通報
 有之候間此段御届申候也
 以下前書式ニ同シ

等ヨリ其所管鎮台

ニ届ケ出ヘシ

第二十三條 後備軍

軀員ノ願届書ハ士

官以上ニ於テハ本

籍地方後備軍司令

官ヲ經由シ所管鎮

台司令官ヘ差出シ

下士ハ本籍後備軍

使府縣駐在官ヘ差

出シ後備軍司令官

ヲ經由シ所管鎮台司

令官ヘ呈スシ

第二十四條 後備軍

軀員ノ寄留又ハ將

籍及ヒ他ノ官廳ニ

奉職ノ故ヲ以テ甲

鎮台ヨリ乙鎮台ノ

後備軍軀員ニ轉セ

ンコトヲ願出之ヲ許

可スルハ甲鎮台

ニ於テハ其兵籍ヲ

乙鎮台ヘ送致スヘ

其四

身元異動之儀ニ付御届

何儀

今般熟談之上養家離縁ニ付何府

縣(同府縣)下何郡區町村(同郡區町

村)何番地住何ノ誰長次孫(二三男

弟)ノ位置ニ復籍仕候間此段御届

申候也

兵種隊號何等卒

明治年月日

姓名印

追書前書式ニ同シ

一父母ノ重病死亡又ハ褒賞休業等

ニテ帰省スル時ハ旅費ハ給セズ

ト雖氏願ニ依リ日給積置金ノ内

若干ヲ下給スル事アルベシ其願

書式左ノ如シ

日給積置金柳下渡被下度儀ニ

付願

何儀

今般父母重病死亡ニ依リ或ハ褒

陸軍滿期下士文官採用規則

第一條 陸軍服役滿期ノ下士、本人ノ請願ニ因リ此規則ニ照シ各官廳ニ於テ文官ニ採用ス可キモノトス

第二條 左ニ掲ルモノハ文官奉職ヲ請願スルコトヲ得

- 一 再服役以上滿期ノ下士ニメ精勤証
- 二 兵卒ヨリ下士トナリ陸軍服役實期十ヶ年以上ニシテ七ヶ年以上下士ノ

職ヲ奉シ精勤証書ヲ所持スル者

三 戦役若クハ公務上ノ傷疾疾病ニ因リ免官シ尚文官ノ勤務ニ堪ル者

第三條 文官奉職ノ請願ハ服役滿期前六ヶ月間又滿期若クハ免官後十二ヶ月間ニ限ル

第四條 請願者ハ左ノ項目ニ照シ試験ヲ為シ合格ノ者ニ限リ採用ス可キモノトス

一 讀書漢文
二 有點ノ書日本外史
三 或ハ假名交リノ

賞休業中歸省御差許相成候處往復旅費ニ差支困却仕候間出格之御詮議ヲ以テ日給積置金之内何圓御下渡被成下度此段奉願候也

兵種隊號何等卒

明治年月日 姓名 印

歸省中本人病氣ニテ期日ニ出發ナリ難キ時ハ本人ノ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ郡區長(戸長)ヘ差出シ郡區長(戸長)與書証印ノ上スミヤカニ

其ノ所屬隊へ送致スベシ

願書式

歸省延期之儀ニ付願

何儀

父母病氣(死亡)ニ依リ或(褒賞休業)中二週間歸省休暇御差許相成來何日ニテ御許可ノ日數相切候處別紙醫師診斷書之通何病相發シ療養罷在候得共何分快癒ニ到ラズ期日通り出發難仕候間尚二週日歸省延期被成下度此段奉願候

書 常山奇談兵要
地理小詩ノ類
寫字片假名交リ及
平假名交リ 作文
片假名交リノ文行紀
類 通俗文ノ書類 和
洋算術四則以例ノ
内

第五條 試験項目ノ
外仍ホ他ノ學術ノ
試験ヲ受シコトヲ
請フ者ハ之ヲ許ス
第六條 請願者ニ於
テ特別ノ試験ヲ要
スル職務ヲ奉セン
コトヲ願フ者アル
トキハ第四條試験
合格不合格ニ拘ハ
ラス其官廳ノ試験

第七條 陸軍省ニ於
テハ試験アルノ後
其書類ヲ審査シ合
格不合格ヲ定メ合
格者ニハ合格証書
ヲ附與シ不合格者
ニハ其旨ヲ告知ス
可シ

第八條 試験合格者
ノ名簿ハ本人願出
ノ順序ニ從ヒテ調
製シ之ヲ陸軍省ニ
備置ク可シ
第九條 各官廳ニ於
テハ別表採用以例
ニ准シ人員アルト
キ又ハ増員ヲ要ス

也

於何府(縣)何郡(區)町(村)何番地

兵種隊號何等卒

明治年月日 姓 名 印

常備役滿期後尚該役ニ從事セント
欲スル者ハ其滿期ノ前年檢閲使
行以前再役ヲ出願スベシ
願書式

再役御許可被成下度儀ニ付

願

何儀

明治何年徵兵ニシテ來明治何年
四月二十日服役滿期ニ相成候處
尙常備役ニ從事致度候ニ付再役
御許可被成下度尤服役中ハ家事
故障等申立候リニ免役出願仕間
敷候別紙身体検査書相添此段奉
願候也

兵種隊號何等卒

明治年月日 姓 名 印

ルトキニ當リ先ツ
請願者ヲ採用ス可
シ

第十條 各官廳ニ於
テ請願者ヲ採用ス
ルトキハ率判任官
十一等以下十七等
以上タル可シ

第十一條 各官廳ニ
於テ請願者ヲ採用
スルハ陸軍省ニ
照會シ直ニ本人ヲ
其廳ニ呼出ス可シ

第十二條 陸軍省ニ
於テハ前條ノ照會
ニ依リ合格者名簿
ノ順序ニ從ヒ其履
歷書並ニ試験書類

ヲ其官廳ニ交付ス
可シ

第十三條 請願者ニ
於テ其請願ヲ取消
サント欲スルトキ
ハ陸軍省ニ届出ツ
可シ

第十四條 此規則ヲ
施行スル為メニ必
要ナル細則ハ陸軍
卿之ヲ定ム可シ

採用比例表

| 官 | 採用 |
|-----------------|----|
| 十一等官以下 | 採用 |
| 十七等以上及 員及ニ増員 | 採用 |
| ノ際請願者 | 採用 |
| ヲ採用スル | 採用 |

一 常備軍滿期歸郷ノ者ハ歸着ノ日ヨ
リ三日以内ニ必ラズ戸長ノ證印ヲ
以テ駐在官へ届出ヘシ

其書式

帰郷御届

私儀

明治何年徴兵ニテ何年何月何々
鎮名何兵何聯隊何大隊入營常備
服役罷在候處今般滿期ニ付豫備
軍へ編入被申付去月何日退營去

ル何日帰郷仕候間此段御届申候
也

府(縣)郡(區)町(村)番地

明治何年徴兵番號

豫備軍何兵種卒

年月日 姓名 印

府(縣)郡(區)町(村)戸長

姓名 印

何府(縣)郡(區)町(村)駐在官

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 外務省 | 六分一 | 陸軍省 | 六分四 | 文部省 | 六分二 | 農商務省 | 六分三 | 工部省 | 六分五 | 司法省 | 六分一 | 宮内省 | 六分三 | 元老院 | 六分一 |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 四 十 版 以 | | | | | | | | | | | | | | | |

官姓名殿

一 豫備軍後備軍服役中ハ猥リニ自己
 ノ所管府縣外へ出ルヲ許サズ故ニ
 所用アリテ旅行或ハ某地へ單身寄
 留セント欲スル時新管軍管内ナレ
 ハ其趣相認メ戸長ノ奥書證印ヲ受
 ケ駐在官へ届出テ直ニ出發スルヲ
 得ベシ若シ其旅行或ハ寄留ノ地他
 ノ軍管ニ係ル時ハ同様ノ手續ヲ以
 テ願出テ許可ヲ得ルノ後ニ非ガレ
 バ出發スルヲ得サル儀ト心得ヘシ

| | | | | | | | |
|-----|-----|----|-----|---|-----|---|-----|
| 警視廳 | 六分三 | 府縣 | 六分二 | 備 | 六分三 | 考 | 六分一 |
| | | | | | | | |
| 内 | | | | | | | |

但本支願届書へハ自他軍管ノ別
 ナク總テ所要ノ日數ヲ定メ且ツ
 召集ノ命令アル時ハ直ニ之ヲ通
 知スヘキ親族ノ姓名住所書ヲ添
 へ差出スベシ
 書式 其一

旅行(單身寄留)之儀ニ付御届

何儀
 今般商用ノ為メ(無據用向有之)何
 府縣(下何郡區)何町(村)何番地何ノ

陸軍滿文官採用規則
期下士

第一條 陸軍滿期下

士文官採用規則第
十四條ニ因リ其細
則ヲ定ムルヲ左ノ

如シ

第二條 本則採用規

則以下第二條ニ因リ
文官奉職ヲ請願セ
ント欲スル者服役

中ニ在テハ第一書
式ニ照シ所管長官

ハ願出ツ可シ又服
役滿期免官後ニ在

テハ第二書式傷痍
疾病ニ因リ免官後
ニ在テハ第三書式

ニ照ラシ戸長ノ與
書證印ヲ受ケ地方
廳ヲ經テ其地所管
ノ鎮台ハ願出ツ可

第一書式

料紙着濃
紙以下同

其儀

未ル年月日服役滿
期相成候ニ付陸軍
下文官採用規則ニ
因リ文官奉職仕度
候間御檢査ノ上御
採用相成候様御取
計被下度候別紙履
歷書並ニ精勤証書
寫相添此段奉願候

誰方エ往復日數ヲ込メ何十日間

罷越(寄留)致候間此段御届申候也

府(縣)郡(區)町(村)番地

明治何年徵兵其種番號

年月日

豫備軍後備軍何等卒

姓名印

何府(縣)何區(郡)駐在官

官姓名殿

追而不在中ハ同府(縣)同郡(區)何

町村(同町村)番地親族何ノ誰エ

宛テ諸事御達被下度此段申添

候也

其二

他軍管々下旅行(寄留)之儀ニ付
願

何儀

今般商用ノ為メ(無據用向有之)何
府縣下何郡(區)何町(村)何番地何ノ
誰方エ往復日數ヲ込メ何十日間
罷越(寄留)致度候間此段奉願候也
此處以下ノ書方ハ前ト同ジ

豫備兵後備兵服役中所管軍管内ニ

年月日

兵種隊所管
兼何師管校備履
見

官姓名印

年号月日生
年号月何年月

職官姓名殿

履歷書ハ陸軍出
身後ノ經歷ヲ詳
細ニ記載スヘシ
以下倣之
第二書式

某儀

過年月日服役滿期
相成居候處今般
滿期文官採用規則
下士

ニ因リ文官奉職
仕度候間御検査
ノ上御採用相成
候様御取計被下
度別紙履歷書並
ニ精勤証書屬相
添此段奉願候也
府縣郡區町
村候籍

元何官

姓名印

年月日
年号月何年月

職官姓名殿

前書之趣調査候
處相違無之候也
府縣郡區町

轉籍或ハ全戸寄留セント欲スル時

ハ左ノ第一書式ノ如ク郡區駐在官

へ届出テ已ニ轉籍或ハ全戸寄留ス

ルノ後三日以内ニ其轉籍地ノ駐在

官へモ届出ヘシ又他軍管内へ轉籍

或ハ全戸寄留セント欲スル者ハ左

ノ第二書式ノ如ク郡區駐在官ヲ經

テ後備軍司令官へ願出ヘシ

第一書式

私儀此度何府縣何郡區何町村何
番地へ轉籍全戸寄留致候間此段

奉願候也

府縣郡區町村番地

明治何年徵兵兵種番号

豫備軍(後備軍)何等卒

年月日

姓名

印

何府縣郡區駐在官

官姓名殿

追而本文之通轉籍全戸寄留致候ニ付別

紙番號割符差出候間御改正被下度候也

第二書式

私儀此度某何軍管々下何府縣何郡區何

町村何番地へ轉籍全戸寄留仕候間兵籍

御送り相成度此段奉願候也

區戶長
姓名印

第三書式

某儀

某戰役參上ノ傷
瘻疾病ニ因リ過ル
年月日危官相成居
候處今般陸軍清文
官採用規則ニ因リ
文官奉職仕度候間
御検査ノ上御採用
相成候様御取計被

此処姓名前書ニ同シ

第何師管後備軍司令官

官姓名殿

前書之通相違無之候也

戶長 姓名印

郡區駐在官

姓名印

府縣駐在官

姓名印

一 豫備軍後備軍服役中戸主嗣子養子分家相續
人トナリ或ハ死没犯罪等總ニ身上ニ異動アル時

下度候別紙履歷
書並ニ診斷書寫相
添此段奉願候也

府縣區郡區野村

旅籍

元何官

年号月日
姓名印

年号月日
年号月日

職官姓名殿

前書之趣調査候
是相違無之候也

ハ戸長ノ與書証印ヲ受テ速ニ駐在
官ハ届出ヘシ

但妻ヲ娶リ或ハ智養子トナリ又

ハ入夫トナル者ハ結婚ヲ願出

バシ離婚又ハ其婦死去スル時ハ

本文ノ如ク届出ヘシ

書式 其一

戸籍面異動之儀ニ付御届

養父母祖父祖母兄弟姉妹妻長

次男支誰儀何月日死亡致他家へ

養子入籍或ハ縁付(養家離縁復籍)

府(縣)郡(區)町

(村)

區戶長

姓名印

但シ診断書ハ傷

疾若シクハ疾病

ヲ証スル為メ豫

テ下附セラレタル

モノヲ云フ

候ニ付戸籍面異動相生候間此段
御届申候也

府(縣)郡(區)町(村)番地

明治何年徴兵番号

豫備軍役備軍何卒

年月日 姓名印

何府(縣)郡(區)駐在官

官姓名殿

本文之異動ニ付若シ割符肩書ニ差
響キ改正ヲ要スル時ハ左ノ追書ヲ
附スベシ

第三條 本則第四條

ノ試験ヲ受ル者並

ニ第五條ニ因リ學

術ノ試験ヲ請フ者

若シ其ノ官職ニ限

リ奉職セシムルヲ願

フ片ハ之ヲ許ス

第四條 前條請願者

並ニ本則第六條ニ

ハ其志願ノ廳名又

本則第五條ニ因リ

學術ノ試験ヲ請フ

者ハ其科目ヲ願書

中ニ記載シテ差出

ス可シ

第五條 本則第二條

ノ項目ニ當ルト雖

追而本文之通異動相生候ニ付別
紙番号割符差出候間御改正被成
下度候也

其二

身上異動之儀ニ付御届

養實父母祖父祖母兄弟姉誰儀戸

主ニ候處何月日死亡(冷般都合ニ

依リ隱居)致候ニ付更ニ父母兄弟

姉或ハ自分相續戸主(自分誰ノ嗣

子又ハ弟)ト相成候間此段御届申

候也

正禁錮以上ノ刑ニ
服セラレタル者ハ
請願スルヲ許サ
ス

第六條 本則第三條第
三項ニ當リ願出ル者

其傷頂文官ノ勤務ニ
堪ヘス又ハ平素行狀
不正等ニシテ他ノ積
勤証書附與ノ者ニ
恰當セスト認ルル
ハ其請願ヲ許可セ
ス

第七條 近衛鎮臺ヲ
除ノ外各官廳ニ於
テ請願者アルルハ

其願書並ニ附屬ノ
書類ヲ其地所管ノ

鎮臺へ送致ス可シ

第八條 第二條第一
第二及ヒ第三書式

ニ照シ願出ル者ア
ルルハ其願書ヲ受
領シタル所管ノ長
官ニ於テ履歷書又
ハ精勤証書若クハ
診断書ヲ調査シ若
シ第六條ニ照シ請
願ヲ許可スヘカラ
サル者ト認ルトキ
ハ陸軍卿ニ申牒シ
テ區處ヲ請可シ
第九條 試験ハ近衛
証書所管ノ鎮臺及
官所ニ於テ行フモ

此ヨリ以下ノ書方ハ前ト同シ
其三

身上異動之儀ニ付御届

何儀

今般何府縣同府縣下何郡區同郡
區何町村同町村何番地住何ノ誰
ノ養子嗣子或ハ何ノ誰ノ相續人
ニ相成何番地ハ分家仕候間此段
御届申候也

此ヨリ以下ノ書方ハ前ト同シ

其四

養家離縁之儀ニ付御届

何儀

今般熟談之上養家離縁ニ付實家
何府縣同府縣下何郡區同郡區何
町村同町村何番地住何ノ誰長次
孫二三男(弟)ノ位置ニ復籍仕候間
此段御届申候也
此ヨリ以下ノ書方前ニ同シ

結婚願

府縣國郡區町村

ノトス但分遣隊ニ於テ請願者アルハ時宜ニヨリ該隊ニ於テ試験ヲ為サシムルコトアル可シ

第十條 試験委員ハ近衛都督若クハ鎮臺司令官ニ於テ部下上長官二名士官三名ヲ撰ミ臨時之ヲ命ズ但時宜ニヨリ一名ヲ減少スルコトヲ得

第十一條 試験ハ概テ三ヶ月毎ニ施行スルモノトス故ニ其ノ試験日時場等ハ鎮臺司令官ヨリ請願者ニ

士族(平民)何職業
何某何女(姉妹)
某
年号月日生
年号月何年何月
某儀

今般熟談ノ上右ニ記載ノ者ト結婚致度依而別紙身元證書相添差出候間御許可被下度此段奉願候也

府(縣)郡(區)町(村)番地
明治何年徵兵番号

管ノ長官或ハ府縣ニ通牒シ本人ヲシテ之ニ應セシムルノ手續ヲ為ス可シ

第十二條 試験ノハ試験委員ハ左式ノ試験表ヲ製シ本人ノ願書其他一切ノ書類ト共ニ近衛都督若クハ鎮臺司令官ニ出ス可シ都督及ヒ司令官ハ速ニ之ヲ陸軍卿ニ進達スルモノトス

試験表

| | | | | |
|----|----|----|----|----|
| 試験 | 算術 | 作文 | 美術 | 官格 |
| 上等 | 中等 | 下等 | 下等 | 下等 |
| 中等 | 下等 | 下等 | 下等 | 下等 |
| 下等 | 下等 | 下等 | 下等 | 下等 |

年月日

預備軍後備軍何等卒
姓名 印

府(縣)郡(區)町(村)戸長

姓名 印

何府(縣)郡(區)駐在官

官姓名 殿

身元證書

府(縣)郡(區)町(村)

備考

一試験ノ優劣ハ上中下ノ三等ニ別チ概子左ノ例ニ因リ其等差ヲ定ム可シ一讀書ハ漢文有ル者ハ能ク讀ミ得ル者ヲ上トシ稍讀得且ツ仮名交リノ文ヲ能ク讀ミ得ル者ヲ中トシ仮名交リノ文ヲ稍讀ミ得ル者ヲ下トシ其他ヲ零トス一写字ハ字樣法ヲ得且捷ナル者ヲ上トシ字樣法ヲ得ルト雖氏捷ナラサル者ヲ中トシ字

士族(平民)職業

何某何女(姉)妹

某

年号月日生

年号月何年何月

右ハ行狀端正之者ニ有之候此段致保證候也

府(縣)郡(區)町(村)戸長

年月日 姓名印

婚姻濟御届

府(縣)郡(區)町(村)番地

士族(平民)何職業

何某何女(姉)妹

某

年号月日生

年号月何年何月

右者何年何月何日願濟ニテ何月何日婚姻相整候間此段御届申候也

府(縣)郡(區)町(村)番地

明治何年徵兵番号

樣精法ヲ得ルト雖運筆遅ナル者ヲ下トシ其他ヲ零トス一作文ハ文意問題ニ適シ明瞭ナル者ヲ上トシ文意問題ニ適スト雖氏明瞭ナラサル者ヲ中トシ文意明瞭ナラスト雖氏稍問題ニ適スル者ヲ下トシ其他ヲ零トス但シ寫字作文ノ料紙ハ義濃卦紙ヲ用ユ可シ一算術ハ比例ニ通スル者ヲ上トシ分數ニ通スル者ヲ中ト

シ四則ニ通スル者
 下トシ其他ヲ零
 トス一試験ノ時
 間ハ寫字ニ題ヲ一
 時間作文ニ題ヲ二
 時間算術ニ題ヲ一
 時間トス其他本別
 第五條ニ因リ試験
 ヲ請フ者ノ試験時
 間ハ適宜ニ之ヲ定
 メ其時ヲ備考ニ記
 載ス可シ一試験
 ヲ受ル者字書ハ勿
 論一切ノ書籍ヲ携
 帶スルヲ許サス
 一官姓名ノ區畫中
 免官後ニ在テハ官
 名ノ頭ニ元ノ字ヲ

年月日

豫備軍(後備軍)何等卒

姓名印

度縣(郡區)町(村)戸長

姓名印

何府縣(郡區)駐在官

官姓名殿

出產御届

妻儀去ル何日分娩男子(女子)出生

加フ可シ一本則
 第五條ニ當リ試験
 ヲ受ケシ者ハ其區
 畫ヲ增加シ或ハ別
 表ヲ作ル等便宜ニ
 從フ可シ一試験
 委員ノ意見其他考
 考トナルヘキ件ハ
 備考ニ記載シ又委
 員ノ姓名ハ表末ニ
 列記ス可シ
 第十三條 陸軍卿ハ
 試験書類ヲ主務ノ
 局ニ下附シ之ヲ審
 査セシメ合格不合
 格ヲ定メ其合格者
 ニハ合格証書ヲ付
 與シ不合格者ニハ

何ト名付候間此段御届申候也

府(縣郡區)町(村)番地

明治何年徴兵番号

預備軍(後備軍)何等卒

年月日

姓名印

府(縣郡區)町(村)戸長

姓名印

何府縣(郡區)駐在官

官姓名殿

其旨ヲ告知スルモ

ノトス尤其手續ハ

最初願出ノ順序ニ

ヨリ近衛若クハ鎮

台ヲ經由ス可シ

第十四條 本則第六

條ニ因リ特別ノ試

験ヲ要スル者ハ其

官廳ニ移牒シ相當

ノ試験ヲ受ケシメ

合格不合格ヲ定ム

尤其合格者ニ合格

證書ヲ附與シ又不

合格者ニ其旨ヲ告

知スル手續ハ前條

ニ同シ

第十五條 本則第八條ニ

揭示ノ試験合格者名

離婚御届

妻某儀都合有之去何日離縁致候
間此段御届仕候也

府(縣)郡(區)町(村)番地

明治何年徴兵番号

豫備軍(後備軍)何等卒

年月日 姓 名 印

府(縣)郡(區)町(村)戸長

姓 名 印

何府(縣)郡(區)駐在官

官 姓 名 殿

簿ハ本人願出ノ月日
ニ從ヒ一ケ年毎ニ一連ノ
番号ヲ附シ順序ニ之
ヲ記載ス若シ願出ノ
日付日ナル片ハ官等
ノ上ナル者又同官
等ナル片ハ年長者
ヨリ順序ニ記載スル
モノトス

第十六條 本則第六條

ニ因リ特別ノ試験

ヲ受ケ合格スル者ハ

別簿ニ調整シ通常試

験ノ合格不合格ヲ記
載シ其他ハ前條ノ例
ニ準ス

第十七條 前條ニ記載

スル者ヲ除ク外本則

兵卒教程附録終

採用比例表備考ニ揭示ノ者ヲ要スルハ試験合格者名簿ノ番号
順序ニ拘ハラズ其職務ニ相當ノ者ヨリ順序ニ採用スルモノトス
第十八條 特別ノ試験ヲ受ケ合格スル者又通常ノ試験ヲ受合格者
ノ中志願ノ官廳アル者類出ノ年月ニヨリ本則第十二條ニ揭示ノ
採用順序ニ至ルト雖モ其官廳ニ所要ナキハ其撰ニ当ラス次番
号ノ者ヨリ採用スル者トス

第十九條 常備服役中ノ者ハ若シ採用順序ニ至ルト雖モ服役滿期ノ
後ニ非レハ其撰ニ当ラス然レモ後備軍服役中ノ者ニ在テハ之ヲ採
用ス可シ但シ官廳ニ採用スル者ト雖モ後備軍職員ヲ免スルトナ
レ

第二十條 第十四條ニ因リ各官廳ニ於テ特別ノ試験ヲ為シ時ハ其試
験ノ科目及ヒ合格不合格ノ旨ヲ直ニ陸軍省ニ移牒スルモノトス
第二十一條 各官廳ニ於テ請願者ヲ採用スルニ當リ其官等ヲ定ムル試
験上ノ優劣ト旧官等トヲ参互斟酌シ適當ナラシムルヲ要ス

第二十二條 各官廳ニ於テ請願者ヲ採用セシ上ハ直ニ其官職ヲ陸軍省ニ移
牒スル者トス
第二十三條 請願者試験ノ為ノ官廳若クハ鎮臺或ハ營所ニ往復スル旅費
ハ總テ自弁タル可シ然レモ本則第十一條ニ因リ請願者ヲ採用スルトハ

各官廳ニ於テ定則ノ旅費ヲ支給ス

第二十四條 請願者各官廳ニ採用セラレサル中年齢四十歳ニ滿チ又ハ禁錮
以上ノ刑ニ所セラレタルハ其請願無功ニ屬スルモノトス

第二十五條 本則第十三條ニ因リ若シ其請願ヲ取消サント欲スルハ又ハ
請願者ノ身上ニ異動ヲ生シ或ハ轉居轉籍若クハ所刑等ニテ履歷上改正ヲ
要スルコトアルハ其旨ヲ詳記シ最初願出ノ手續ニ因リ届出ツ可シ

第二十六條 本則第六條ニ因リ特別ノ試験ヲ要スル職務ハ左ノ如シ
農商務省 逓信省 工部省 各省 官内省 駁者

66
3
64

明治十六年七月二十日出板御届
同 年九月 出板 定價 金六錢

編輯兼
出版人

河井源藏

神田區二ツ橋通町十番地

發兌

東京府下二ツ橋通町

有則軒

書肆

大坂府下泉州殿熊野町東丁

有則軒支店

